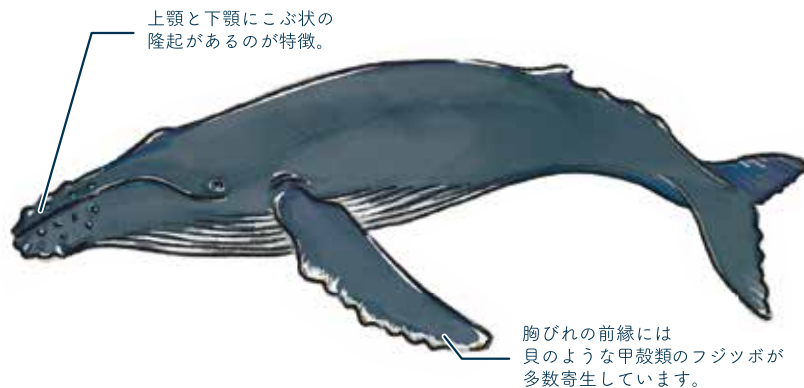


# ザトウクジラを学ぶ

Study about Humpback Whales

クジラの仲間は約90種類いるといわれています。  
伊豆諸島近海で冬から春に見ることができる主な種類は“ザトウクジラ”。  
その特徴や生態を知れば、見つけた時の喜びも増えるかも。



ヒゲクジラ亜目 ナガスクジラ科

歯の代わりに200～400枚の「鯨ヒゲ」という器官を用いて餌をこしとる種類

属名：Megaptera（ラテン語で大きな翼）

英名：Humpback Whale

和名：ザトウクジラ（座頭鯨）

背中がのびのびした、琵琶法師を思わせることが由来とされる

〔大人の平均〕

体長：14m／体重：20～40t

寿命：おおそ50歳

観察時期※三宅島の場合：10月下旬～4月頃

夏季にカムチャツカ半島沖などの北の海域で採餌し栄養を蓄え、冬季に日本近海にて繁殖や子育てを行っていると考えられる



数回のブローの後、潜水するときによく尾びれを上げる（フルークアップ）のがザトウクジラの特徴です。  
尾びれの腹側にある複雑な模様が、個体により異なるとされており、個体識別の手がかりとなっています。

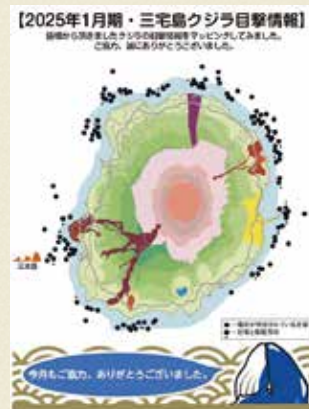
## 三宅島で見られるクジラについて



2018年頃から来遊し始めたザトウクジラ。来遊時期は10月下旬と、小笠原諸島や慶良間諸島（沖縄）よりも1～2ヶ月近く早い傾向にあります。2017年8月から始まったとされている「黒潮大蛇行」※により、冬場の海水温が20℃前後まで上がったことが関係しているのではないかと推測されています。

※黒潮の流路が長期間にわたり大きく曲がりくねる現象

参考：「知る！観る！ザトウクジラ・フォーラム in 三宅島」三宅島に来遊するザトウクジラたち 菊地ひとみ（東京都自然ガイド、三宅島ザトウクジラ特別調査隊）



島を探検しながら  
ザトウクジラに会いに行こう！

## 三宅島探鯨MAP "Whale Exploration in Miyakejima" MAP



伊豆岬

Izu-misaki Cape

過去の噴火で堆積した地層を見ることができる。明治時代に建造された角柱の灯台が目印。



メガネ岩

Megane-iwa Rock

長年に渡る波の浸食で生まれた海蝕洞。近隣の温泉施設（ふるさとの湯）の駐車場からも観察することができる。

錆ヶ浜港  
Sabigahama Port

伊ヶ谷港  
Igay Port

三池港  
Miike Port

三宅島空港  
Miyakejima Airport

立入り禁止区域



大久保浜

Okubo-hama Beach

全長約2kmに渡る玉砂利のブラックサンドビーチ。都道沿いにある「赤じゃり公園」からも眺めることができる。



湯舟大橋

Yubune-ohashi Bridge

天気の良い日には富士山などの眺望を楽しむことができる。たまに希少種の「セミクジラ」が見られることもある。



サタドー岬

Satado-misaki Cape

溶岩流により誕生した約30mの断崖絶壁。ウミガメがよく見られるポイントのひとつ。※足元が崩れやすいのでご注意ください。



沖原海岸（通称：空港下）

Okibara-kaigan Coast

玄武岩質溶岩流でできた海岸。満月の夜は海面を一直線に照らす「月の道」が見られる。



新鼻新山（にっぱなしんざん）

Mt. Nippa Shinzan

海底爆発により一夜でできた丘。火口から噴出された岩石や火山灰が積もってきた。※足元が崩れやすいのでご注意ください。

「三宅島観光協会公式 X」で目撃情報を募集中！



Xにてクジラの見撃情報を募集、発信中。投稿の際には、以下のハッシュタグを忘れずに！皆様からの情報提供をお待ちしております。

#三宅島クジラ

#クジライン



Xをチェック！